

都立第五商業高校は、取得した資格は就職や進学に活かすことができるとし、「資格の五商」と広くアピールしています。

校舎壁面の窓いっぱいの懸垂幕や全国高等学校簿記コンクール東京大会優勝旗が生徒たちの日々の努力の成果を讃え、五商全体で応援しているように見えました。



3年 総合実践



この「総合実践」という授業は1年生2年生で学んだ商業科目の知識や技術（簿記、ビジネス基礎、情報処理など）を活用して、2人一組（社長・社員）で株式会社を経営します。物品の売買に伴う実践業務の学習をする中で、ビジネスマナーの資質も養われます。当日の授業は1学期の最後の時間で、各自が何をすべきかよく理解し主体的に活動しているのが印象的でした。



電話、出納帳、注文書、小切手等がデスクの上に広げられていました。実際と同じような環境です。

電子化も進んでいる現在ですが、実際に目や手で一つひとつ確認しながら進めることも大切なようです。

2年 選択 ビジネス計算 「減価償却」

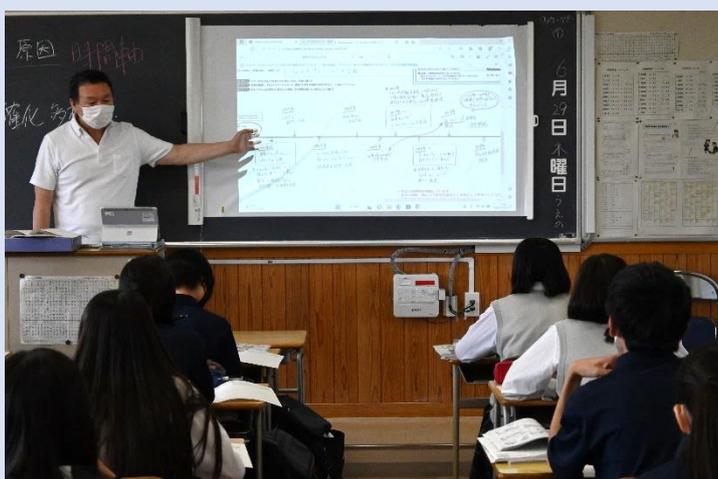


当日は、減価償却の学習をしていました。電卓を使いながら、1年後、2年後、3年後の減価償却の値を電卓を操作して、次々と算出していました。

減価償却には「定率法」と「定額法」という二つの方法を学ぶようで、この日は「定率法」を学んでいました。

操作のスピードもとても速く感じたのですが、電卓についているキーの新たな使い方を知った日でもありました。

1年 ビジネス基礎 「経済と流通の基礎」



当日は、「流通と歴史と発展」を通して、探究的な学習に必要なスキルを身につけることを目的とした授業でした。

左の画像は、黒板にスクリーンを貼って、生徒作品を紹介している場面です。

「影響されてしまうことが多い」ということで、一瞬の紹介でしたが・・・。

情報を整理して分析するなかで、気づきを促す授業でした。

充実の図書館

図書館は、話題の本も充実して明るい雰囲気でした。蔵書はきちんと整頓され、お薦めの本の紹介も右の画像のように手に取りやすいように並べてありました。

6月27日に開催した東京都産業教育振興会の総会でご講演をいただいた宮本みち子先生の本も見つけることができました。

